



令和4年2月号  
うみのこセンター  
TEL(054)335-1148  
FAX(054)335-1292  
Mail: [shimizu-uminoko@po4.across.or.jp](mailto:shimizu-uminoko@po4.across.or.jp)



7(月)		1(火)	2(水)交流保育	3(木)	4(金)
年少 親子遊び 9:45		きりん1 9:45 ( 感覚 )	ラッコ1 10:40 ( 親子遊び )	パンダ1 10:00 ( 親子遊び )	あひる1 10:00 ( 親子遊び )
特別指導		A 14:00 ( 感覚 )	G1 14:00	何でも相談	年中 親子遊び 13:30
14(月)		8(火)	9(水)交流保育	10(木)	11(金)
りす 9:45 ( 感覚 )		しか1・2 9:45 ( 感覚 )	ラッコ2 10:40 ( 親子遊び )	パンダ2 10:00 ( 親子遊び )	建国記念の日
E 14:00		F1 14:00	B1 14:00 ( 感覚 )	C 13:30 ( 感覚 )	
20(日)		15(火)	16(水)交流保育	17(木)	18(金)
父親 教室	うさぎ 9:45 ( 感覚 )	きりん2 9:45 ( 感覚 )	ラッコ1 10:40 ( 絵画 )	パンダ1 10:00 ( 絵画 )	あひる2 10:00 ( 親子遊び )
	何でも 相談	※G2 14:00	B2 14:00	何でも相談	D 13:30 ( 感覚 )
28(月)		22(火)	23(水)	24(木)	25(金)
※あひる2 10:00 ( 絵画 )		※ラッコ2 10:00 ( 絵画 )	天皇誕生日	パンダ2 10:00 ( 絵画 )	あひる1 10:00 ( 絵画 )
何でも相談		F2 14:00		何でも相談	ペアレントトレーニング 13:30

＜交流保育について＞  
交流保育に参加されている方で入園先が公立こども園に決まった方は、入園する園で交流保育を行います。入園決定通知がご自宅に届きましたら職員までお知らせ下さい。交流保育に参加されていない方でも、入園先が公立こども園の場合は希望で参加する事もできますので、職員へご相談ください。

＜来年度のグループについて＞  
4月からのグループ編成を検討しています。新しいグループ(予定)をお伝えしていますので、ご都合がつかない場合は職員へご相談ください。

＜父親教室のお知らせ＞  
20日(日)10:00～ ZOOM 開催

昨年度、「ちょっと見方を変えてみると」～うちの子って、ああ、そうなのかと思えるお話～というテーマで行う予定だった父親教室は、新型コロナウイルス感染症のために開催ができないまま終わってしまいました。しかし、稲吉先生のお話をぜひお父さん方に聞いていただきたく、再度計画いたしました。今回も残念ながら集まっての開催は難しいため ZOOM 開催とさせていただきますが、ぜひたくさんの方にご参加いただきたいと思います。参加方法等、詳細については別途配布しますチラシをご覧ください。



### 幼児：〈触覚 粘土〉

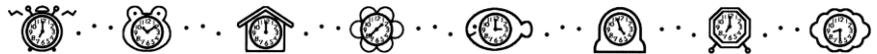
粘土のだいがみは何と言っても触った時に感じる刺激の心地よさと、こねたりつついたりすると粘土の形が色々に変わることでないでしょうか？

こねる、たたく、丸める、伸ばす、ちぎるなど思い思いに親子で楽しんで下さい。何か形にしなくても、と思わなくても大丈夫です。まずは感触を思いきり楽しんでみましょう。

### 乳児：〈絵画 なぐり描き〉(ラッコ・パンダ・あひる)

おうちでは、「あ～紙からはみ出して机が・・・。」「そこは描いてはダメ！」ということもあるのではないのでしょうか。今回は大きな紙や段ボール箱になぐり描きをします。大きな紙に思いっきり描くことを楽しんで下さい。中には自分で描くよりも大人に描いてもらう方が好きなお子さんもいますが、そんな時は何かを描かせようとしなくても大丈夫。まずは親御さんが楽しんで、紙に色が付くことの楽しさや手を動かした通りに形が表れるおもしろさを見せてあげてください。

### 【時間管理について考える】



一日は 24 時間。これは誰にでも平等に与えられています。限られた中で常に時間とにらめっこしながら過ごす毎日。自分が予定したとおりに物事が進めば良いですが、なかなかそうはいきません。特に子どもがいると、思うように進まなくてイライラ…。つい、こちらの都合で子どもを動かしたくなります。そんな時、ハッとさせられた記事を発見。一部抜粋してご紹介します。

近年、タイマーなどをはじめ数多くの時間管理ツールや支援ツールが普及してきています。しかし、タイマーを使っても遊びをやめられない子ども、次の活動を示すカードを見せても活動を切り替えられない子どもは少なからずいます。そのような子どもはタイマーなどの意味が理解できないのでしょうか。そういう場合もありますが、むしろ、子どもの思いや願いを無視するためのツールとなってしまっていることがよくあります。幼稚園や保育園などで、先生の「お片付けよ」という言葉かけでさっと片付けができる子どもたちについて、この子たちは本当に遊んでいるのだろうかとは先生たちに問いかけています。遊びこんでしまった子どもは遊びをやめられると思いますが、遊びがまだ途中の子どもであればやめられないのは当然のことではないのでしょうか。「お片付けよ」と言われた瞬間「えーっ」と言える子どもたちこそ、保育が大切にしている遊びこみに向かっている子どもだと思ふのです。

タイマーやスケジュールなどのありがちな失敗の多くは、子どもに指示したり、子どもを支配したりするために用いた場面で起きがちです。自分で物事をよく考える子ども、すなわち、自分の活動の意味や必要性をよく考える子どもほど、指示に従いにくかったり、大人の支配を嫌ったりする傾向が強いように思います。

タイマーやスケジュールを子どもに用いる場合、それによって大人の期待通りに子どもが行動できればそれでよしとしていないのでしょうか。しかし、それでは、指示に従う能力は身についたとしても、自分で考え行動する力は身につきません。子どもの問題解決能力を発達させるためには、時間について主体的に考え行動する機会が必要です。大げさな言い方かもしれませんが、子どもにとって、時間を管理することが、自分の生活を自分の責任でより豊かに楽しいものにするために必要な自立と権利行使につながるのだということを実感することが大切です。決して、大人の都合に合わせて子どもを支配するようなタイマーやスケジュールの使い方にならないように気をつけたいものですね。

～発達教育 2021.12 「子どもによる子どものための時間管理」より抜粋～

\*うみのこセンターのおたよりは、ホームページから閲覧することができます。予定の確認などにご活用ください。各行事のお知らせや、活動報告なども随時掲載しています。ぜひご覧ください。

〈閲覧手順〉 ①静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp>

イベント報告→うみのこセンター

② トップページ 「新着情報」

